



「ART OSAKA 2018」会期：7月7日(土)－8日(日) 会場：ホテルグランヴィア大阪
開幕まで約1か月！フェアを十二分に楽しむためのポイントをご紹介！



A. YOD Gallery, ART OSAKA 2017 展示の様子 photo by Mayuko Uno

第16回現代美術のアートフェア「ART OSAKA 2018」(7月7日(土)－8日(日) [内覧会：6日(金)]) の開幕までいよいよ約1か月となりました。今回は、アートフェアを十二分に楽しむポイントをご紹介いたします。

ポイント1：ウェブサイトを使って出展作品を予習しよう！

ART OSAKA 2018 の公式ウェブサイトでは、出展予定作品の一部を事前に紹介しています。登録されている作品数は約250点で、作家名による検索だけでなく、絵画や彫刻、写真等メディアを絞っての検索や、価格帯による検索が可能です。購入予算の参考にしたり、どのギャラリーからどんな作品が出展されるのか、事前にチェックし、フェア当日お目当ての作品を効率的に見て回る準備に活用できます。また会場にご来場できない場合も、メールでの問い合わせも可能な問い合わせフォームも付いています。

アートワークページ▶ <https://www.artosaka.jp/jp/artwork/>

ポイント2：韓国や台湾の有名ギャラリーが紹介する、同時代のアジアの表現を体感しよう！

ART OSAKA 2018には、韓国からは Gallery Shilla、Keusmsan Gallery 等、台湾からは AKI GALLERY、Galerie Grand Seicle、Der-Horng Art Gallery 等、国際的に精力的な展開をしているギャラリーが出展します。

例えば、ミニマルな表現の空間的な作品を数多く紹介している Gallery Shilla (テグ、韓国) は、近年カラー・ストライプの繰り返しを、様々な素材の上で実験的に行っている作家、Doo young Park(b.1958-)と、最小限の垂直線と平行線で分割や再構成を行いながら、空間的な効果の試みを行っている Lee Kyo Jun(b.1955-)を紹介します。また、映像や写真等のニューメディアにも強い Galerie Grand Seicle (台北、台湾) は、都市風景をテーマに制作している SU Tzu-Han(b.1984-)や、絵画や写真を使って「日常與肉身-Flesh and the Everydayness」を表現している HSU Meng-Han(b.1988-)ら、台湾の若手作家を紹介します。台湾だけでなくアジアでも最も主要な現代美術ギャラ

リーの一つとして知られるAKI GALLERY（台北、台湾）は、プールサイドの出来事を独特なタッチで描く**FAN Yang-tsung**(b.1982-)や、アンバランスな少女(女性)像を描く**WU Yih-Han(b.1982-)**、欲望に塗れた現代の人間像を金箔を使った絵画でシニカルに描く**LEE Chen-Dao(b.1982-)**、古典的な絵画をベースに抽象的な線や余白を加えナラティブな絵画を追求している**CHENG Nung-Hsuan(b.1983-)**ら、台湾の若手作家の力強い表現をグループ展で紹介します。

ART OSAKA 2018 では、同時代に活躍するアジアの新進気鋭の作家から実力派中堅作家の表現を目撃できるだけでなく、ギャラリストから直接話を聞くことで、作品の背景にある作家のコンセプトを知ることができる貴重な機会になるでしょう。



1. Park,Doo-Young
《Untitled(10BY201802A)》
アクリル混合メディウム、リネン
227×140cm 2018 /
Gallery Shilla (テグ、韓国)



2. Lee, Kyo-Jun 《Untitled》
綿帆布にアクリル絵具
91×73cm 2017 /
Gallery Shilla (テグ、韓国)



3. 蘇子涵/SU Tzu-Han
《2% of the homeland》
ミクストメディア
25×17×16cm 2018 /
Galerie Grand Siècle(台北、台湾)



4. 徐夢涵/HSU Meng-Han
《Flesh and the Everydayness 008》 デジタルプリント
21.6×32.3cm 2017 /
Galerie Grand Siècle(台北、台湾)



5. 范揚宗/FAN Yang-Tsung 《小さなプール》
キャンバスにアクリル 20×30cm 2018 /
AKI GALLERY (台北、台湾)



6. 吳逸寒/WU Yih-Han 《無題》
紙、インク 50×35.5cm 2017 /
AKI GALLERY (台北、台湾)



7. 李承道/LEE Chen-Dao 《私たちが一緒にいるとき 5》
オイル、キャンバス、金箔 121×151×10cm 2017 /
AKI GALLERY(台北、台湾)



8. 鄭農軒/ CHENG Nung-Hsuan
《Classical Tale no.5》
キャンバスに油彩
25.5×18cm 2018

ポイント3：企画展を楽しもう！「京芸 transmit program 2018: ART OSAKA version」

ART OSAKAでは、2013年より京都市立芸術大学とコラボレーションにより、将来を大いに期待出来る若手作家たちを紹介する企画展を開催し、毎年好評を博してきました。今年は「京芸 transmit program 2018: ART OSAKA version」と題して、**熊野陽平（構想設計）、小林紗世子（日本画）、藤田紗衣（版画）、吉田桃子（油画）**の若手作家4名を、2部屋(6108, 6109)を使って紹介いたします。新進気鋭の作家のあふれるパワーをご覧下さい。



※企画：京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA / 協力：京都市立芸術大学キャリアデザインセンター / 後援：京芸友の会

9. 「京芸 transmit program 2018」展示風景

(京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA、2018) Photo by Takeru Koroda

ポイント4：トークイベント「再考：80年代のアートシーン」に参加しよう！

ART OSAKA 2018の会期中には、美術専門家によるトークイベントも開催いたします。美術史の動向を踏まえながら見ると、作品の理解も一段と深まります。※現在事前予約受付中！



国立国際美術館主任研究員 安來正博氏

トークタイトル：「再考：80年代のアートシーン」

日時：7月7日（土）14:00-15:30

会場：ホテルグランヴィア大阪 20階クリスタルルーム

ゲスト：安來正博（国立国際美術館主任研究員）

聞き手：加藤義夫（加藤義夫芸術計画室・ART OSAKA実行委員）

入場料：無料 *但し、フェア入場料1500円が別途必要

定員：40名 *事前予約制（先着順）

申込方法：info@artosaka.jpまで、必要事項【お名前、人数（2名様迄）、
当日連絡可能な電話番号】を明記の上、お申し込みください。

トーク概要：1980年代は近代(モダン)が終焉を迎えポストモダンの時代に入りました。アートはモダンアートの伝統から決別し、ポストモダニズムを生みます。

今年は日本各地の美術館で日本の80年代美術が取り上げられ紹介されます。大阪では今秋11月から「ニュー・ウェイブ 現代美術の80年代」展が国立国際美術館で開催されます。同展担当キュレーターの安來正博さんに、80年代美術の魅力を語っていただきます。

ポイント5：来場者による投票「ベストプレゼンテーションアワード」に参加しよう！

今年は新たな試みとして、フェアの来場者の方々に最も魅力的に感じたブースに投票して頂く参加型プログラム「ベストプレゼンテーションアワード」を実施します。7月6日（金）内覧会にお越し頂いた招待客・関係者の皆様の投票により「プレビュー賞」を決定し即日開票予定。また内覧会と、続く一般公開の7月7日（土）8日（日）を合わせたフェア全日程の投票を集計して「オーディエンス賞」も決定いたします。

アワードに参加することが、現代アートの世界に普段より一歩踏み込んで関わる楽しさ・奥深さを知るきっかけになること間違いありません。

ART OSAK 2018 開催概要

開催日時：2018年7月7日(土) - 7月8日(日)

プレビュー：7月6日(金) 14:00 - 20:00 (プレス・招待客のみ)

一般公開：7月7日(土) 11:00 - 20:00

7月8日(日) 11:00 - 19:00 *ご入場はフェア終了1時間前まで

フェア会場：ホテルグランヴィア大阪 26階（ワンフロア貸切）

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田3丁目1-1 (JR大阪駅直結) T.06-6344-1235 (代表)

出展ギャラリー：54 ギャラリー

出展ブース数：68 ブース

入場料：¥1,500-. / 1day pass *小学生以下は無料。但し必ず保護者同伴下さい。

*チケットはフェア会場にてお買い求めください

主催：ART OSAKA 実行委員会

特別協力：ホテルグランヴィア大阪

協賛：寺田倉庫 / TERRADA ART ASSIST株式会社 / アサヒビール(株) / (株)ライブアートブックス /

ホルベイン画材(株) / Gandi Asia Co. Ltd / (株)ダイム / イリカフェ社 / プリムス株式会社 / Square (スクエア)

後援：ART KAOHSIUNG / ONE ART TAIPEI / ワンピース俱楽部 / パトロンプロジェクト / アートのある暮らし協会

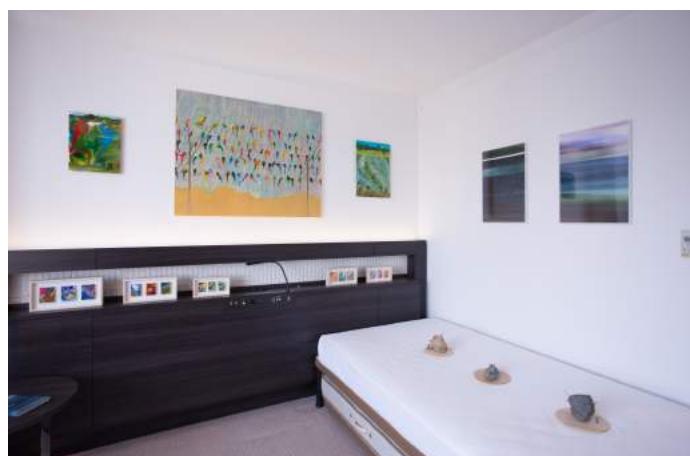
イベント協力：京都市立芸術大学

メディアパートナー：ART FACTS.NET / Art+ Magazine

公式ウェブサイト：<https://www.artosaka.jp>

Twitter：https://twitter.com/ART_OSAKA

Facebook：<https://www.facebook.com/artosaka.jp> Instagram：<https://www.instagram.com/artosaka.jp/>



B. KOKi ARTS, ART OSAKA 2017 展示の様子 photo by Mayuko Uno



C. LAD GALLERY, ART OSAKA 2017 展示の様子 photo by Yuico Taiya

ART OSAKA 2018 出展ギャラリー *がついているのは ART OSAKA 初出展

[大阪] ノートギャラリー / ギャラリーノマル / ギャラリーヤマグチ クンストバウ / 大阪芸術大学 /
サードギャラリーAya / カペイシャス* / Nii Fine Arts / DMOARTS / ギャラリーほそかわ / ギャラリー風 /
Yoshiaki Inoue Gallery / アートコートギャラリー / studio J / YOD Gallery / TEZUKAYAMA GALLERY
[京都] ギャラリーインカーブ | 京都 / ギャルリー宮脇 / Finch Arts / 芦屋画廊kyoto / アートゾーン神楽岡 /
MORI YU GALLERY
[愛知] アインソフディスパッチ / ジルダールギャラリー / GALLERY IDF / GALLERY APA / LAD GALLERY
SHUMOKU GALLERY
[東京] Gallery OUT of PLACE / 万画廊 / KOKI ARTS / 不忍画廊 / レントゲンヴェルケ / YUKI-SIS / MEM /
メグミオギタギャラリー / hgrp GALLERY / GALLERY TARGET / TALION GALLERY* / ギャラリーかわまつ /
eitoeiko / POETIC SCAPE* / GALLERY 麟 / GALLERY 小暮 / Sansiao Gallery | MASATAKA CONTEMPORARY /
小出由紀子事務所 / 橋画廊 / みうらじろうギャラリー
[韓国] クムサンギャラリー / AP Gallery / ギャラリーゴド / Gallery Shilla
[台湾] Galerie Grand Siècle / Der-Horng Art Gallery* / AKI GALLERY

広報用画像

広報用画像として、上記の通り昨年の展示風景（A～C）3点、出展予定作品画像（1～9）9点をご用意しております。
画像が必要な方は、下記お問い合わせまでお気軽にご連絡ください。
画像使用の際は下記の通りキャプションを明記にご協力下さい。
また掲載が決まりましたら、掲載紙やPDFデータを1部事務局までお送り頂くか、又は掲載先URLをお知らせ下さい。
尚、最新情報は隨時 公式ウェブサイト、facebook、twitter、instagramにて配信いたしますので、合わせてご覧いただければ幸いです。

お問い合わせ先：ART OSAKA 事務局

担当：宮本、川西、鈴木、山岸

〒 542-0062 大阪市中央区上本町西 4-1-68 T. 06-7506-9338 / E. press@artosaka.jp